



かんおんじ

2024 / 令和6年

10 October

大野原こども園 避難訓練

9月11日に大地震とそれに伴う火災を想定した訓練を行い、0歳から5歳児まで251人が参加しました。

特集

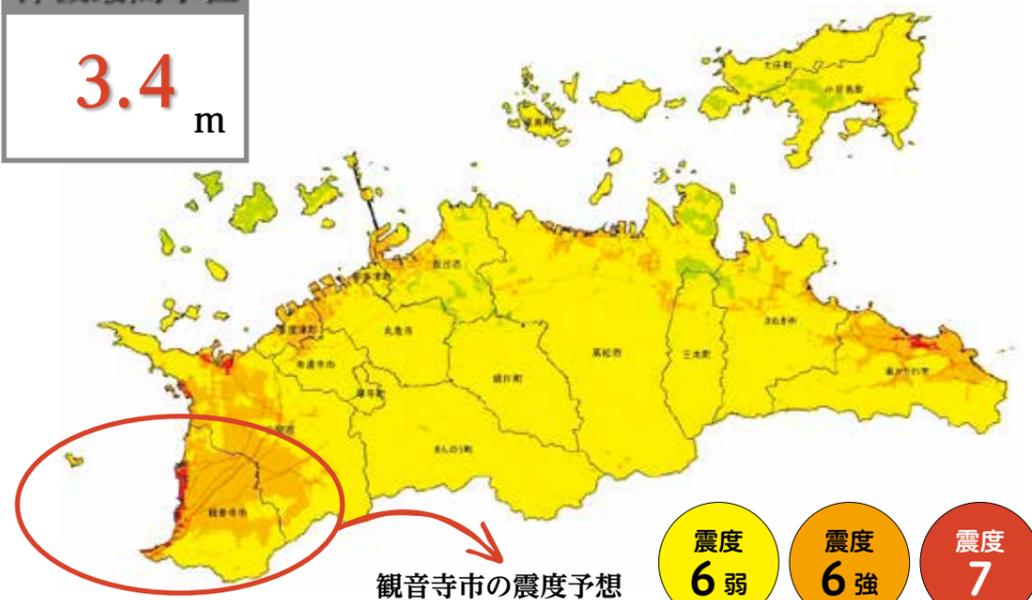
減災のためにどう備える

災害は止められません。でも、**減災**することはできます。

南海トラフ地震（最大クラス） 観音寺市の被害想定※

最大震度	死者	負傷者	避難者
7	790人	2,500人	21,700人
建物全壊	上水道断水	下水道支障	停電
7,600棟	54,000人 (ほぼ全域)	7,300人	33,000棟 (ほぼ全域)

津波最高水位
3.4 m



観音寺市の震度予想



※観音寺市地域防災計画より

特集

減災のために

どう備える



ここ数年、全国各地で地震が発生しています。南海トラフ地震は30年以内に70%〜80%の確率で起こるといわれており、市内でも大きな被害が予測されています。地震の発生を止めることはできませんが、一人ひとりが命を守る備えをすることで、被害を軽減することができます。災害が起こる前から、自分ができる備えや対策をお願いします。

地震発生直後取る行動

まず、身を守る



机の下などに避難。慌てて外に飛び出さない
できれば調理器具の火を消し、窓やドアを開け、
非常脱出口の確保を（ただし無理はしない）

震度7で想定される被害

- 固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともあります。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなります。耐震性の高い木造建築でも、まれに傾くことがあります。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリートづくりの建物は倒れるものが多くなります。

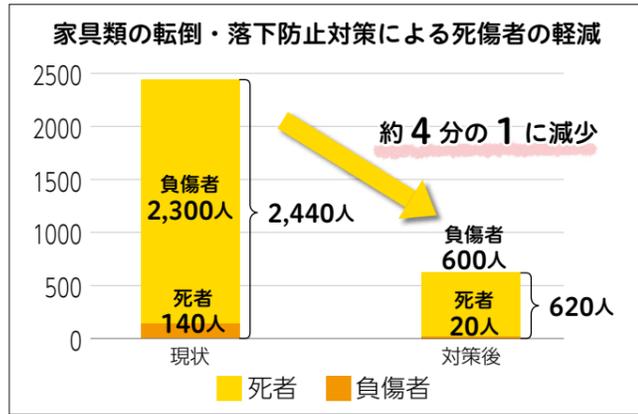
令和6年に入り能登半島、豊後水道、日向灘等において震度6弱以上の地震が発生し、初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表され、南海トラフ巨大地震が迫ってきている感があります。

南海トラフ地震臨時情報が発表されて以降、スーパーやホームセンターでは「水」「防災グッズ」の姿が消え、いざという時に必要な物が無くなるのが明らかになりました。必要な物を必要な時に使えるように日ごろから備えをしてください。事前の備えが気持ちに余裕を与えてくれます。市でも大災害に備えて備蓄はしていますが「自助（自分の命は自分で守る）」が基本です。南海トラフ地震は100%の確立で発生します。「自助」「共助」「公助」の力を合わせて乗り切りましょう。



危機管理課 防災専門官

家具の配置見直しと転倒防止対策



(出典) 香川県地震・津波被害想定調査報告書



①食器棚はL字金具や天井に当て板をして伸縮棒で固定 ②テレビは金具とロープで壁と固定 ③中から物が飛び出さないよう、棚は扉を固定

家具の固定の前に、物の配置の見直しを

防災対策というと家具の固定という印象がありますが、まずは玄関前や廊下など出入り口に避難を妨げる物がないか確認し、可能なら家具や物を移動させましょう。屋内の避難経路を確保する事は重要です。その上でなおかつ、家具を固定します。ただし、固定をしたからといって災害の状況では絶対に倒れないかどうかは分かりません。ただ、転倒を遅らせて、避難時間を確保することはできるかもしれません。家具固定の前に、「ここに物があって大丈夫かな」と家族で家の中を見直してみましよう。

香川県防災士会
家具類固定サポーター
防災士
高橋英雄さん(瀬戸町)



高橋さん宅の家具の固定方法を拝見！

ペットの防災



ペット同行避難マニュアル

避難所ではペットはケージに入れて避難が原則。「ケージは固い素材の物が安全です」



持ち出し袋は、学生時代に山岳部だった甥のリュックを活用。「中高生時代に修学旅行用などで買ったバッグは丈夫なので捨てずに活用すると良いですよ」

ペット避難可能な避難所は限られているため、ペットをどこに避難するか前もって決めておき、被災後は早めに避難をしましょう(動物病院やペット美容室、家族、知人に相談を)。飼い主が助からなければペットは助かりません。まずは飼い主自身の身の安全を確保することが大切です。

持ち出し袋の中身を拝見！

ペットフード、シート(ワイドサイズにすると人間用のトイレの吸水シートとしても利用可能)、猫砂、犬用おむつ、水(ペットボトルに犬用、猫用と記載すると避難所でのトラブル防止になる)、犬用靴、健康手帳、ペットの写真(アップのもの、大きさが分かるもの2種類 ※迷子の際に活用)



備蓄(ローリングストック)

備蓄品リスト(非常時持ち出し袋とは別に備蓄しましょう)

- 飲料水(一人1日3リットルを目安に3日分用意)
- 食品
ご飯(アルファ米など一人5食分を用意)
ビスケット、板チョコ、乾パンなど最低3日分の食料
- 下着、衣類
- 非常用トイレ、トイレ用ペーパー、除菌シートなど
- マッチ、ろうそく
- カセットこんろ

さらに各家庭の状況に応じた備蓄品

- 女性用品
生理用品、メイク用品、ヘアゴム、鏡
- 乳幼児用品
紙おむつ、おしりふき、ミルク、離乳食、ストロー
- 子ども用品
おもちゃ、おやつ、アレルギーなどのメモ
- 高齢者向け用品
常備薬、入れ歯・洗浄剤、介護用品

備蓄で特に大切なこと

- 1 平時から備えを
災害時は水や食料、防災グッズなどが店頭から不足します。何かあってから備えるのではなく、事前に備蓄しておきましょう
- 2 水の確保を
飲料水とは別に、生活用水のため水道水を入れたポリタンクを用意、お風呂の水をいつもはっておくなどの備えをしましょう
- 3 非常用トイレの準備を
一人1日5回・3日~1週間分を目安に家族分準備しましょう
- 4 生理用品やおむつの準備を
避難所で不足しがちな物資です



非常用持ち出し袋

持ち出し袋の中身を拝見！

防災食/非常用トイレ/ティッシュ/防臭袋/毛布/タオル/アルミブランケット/服/水(500ミリリットルを8本)/雨具/靴/充電式ラジオ/薬/応急処置用品/保険証コピー/生理用品/ウォーターバッグ/その他(手袋、カイロ、マッチ、五徳ナイフ、ヘッドライトなど)



家族で分担して持ち出しを

非常用持ち出し袋で大事なものは、家族全員で分担すること。我が家では小学5年生の娘にも水1リットルやタオル、非常食など、子どもでも持てる重さの物をリュックに入れて持ってもらいます。市販の持ち出し袋を買った人は、必ず中身を一度出して確認し、不足している物を補いましょう。家庭ごと、避難場所によって持って行く物は変わります。どこに避難するか、何を備蓄するかなど、家族で話し合うことが一番大切です。

防災士
ペット災害危機管理士
荻田知歌子さん(本大町)

減災のために、できることから備えよう

観音寺西公民館区の第2層協議体「にっこり西クラブ」。2019年7月に発足後、地域の住民に困りごとについてアンケート調査をしたところ、最も多かったのは災害時の不安でした。そこで、協議体では地域の防災の取り組みを続けてきました。

この地域は観音寺港を含む瀬戸内海沿岸に位置し、財田川、一の谷川、柞田川の3河川に接しており、浸水や高潮・土砂災害、液状化の危険性が高い地域です。市内は沿岸ほど震度が大きく、震度7が想定されています。

代表の村上さんは「海が近いので防災に関心が高いのではないかと思います。災害時は地域の日ごろのつながりが大切。定期的にチラシを配って呼び掛けたり、公民館まつりでは防災関係の展示をし、防災食の試食を行うなど、継続して防災の取り組みを行ってきました」と話します。

この4月には各自治会に世帯調査票を配り、要支援者の情報などを集約しました。自治会長の協力で調査票回収率は9割を超えます。今後は地域住民が分かりやすい防災パンフレットの制作と生活支援マップの内容をより充実させていく予定です。

また、避難場所の充実と高齢者や要支援者の避難支援にも取り組みます。

同協議体の矢野さんは、浸水の可能性が高いこの地域は、一時避難できる場所の確保が課題だと話します。

「この地域は避難所が少ないため、地区内で『いつとき避難場所』を作ろうと検討しています。3階建ての建物があれば、自治会の各班5〜10数人が一時的に避難することができます。防災の中で避難は一番大事なことで、行政の協力も得ながら避難場所を確保していきたいと思えます」



9月4日に西公民館で開催された協議会のようす



第2層協議体「にっこり西クラブ」
矢野利彦さん 村上茂樹さん
(西本町) (三本松町)

取り組む、考える

同協議体では定期的に集まり、互いに災害時をイメージしながら真剣に考え、活発に意見交換しています。

避難場所のほかにも考えないといけない課題は多く、災害が起きる前にどれだけ段取りできるかが大切だと村上さんは言います。

「地域の若い人を巻き込みながら、自分たちの地域を自分たちで守るために行動していきたいと思えます」



地域で

一ノ谷地区の住民ボランティア「一ノ谷けっこいチーム」12人が6月22日から24日まで輪島市南志見地区で支援活動を行いました。市内企業や有志からの災害支援物資を届け、南志見公民館で、ばら寿司やうどん、室本麴の甘酒や抹茶を振る舞い、一ノ谷音頭を踊ったりトランプの演奏をしたりして交流しました。

南志見地区に災害支援が入るのは今回が初めて。公民館は1月11日まで避難所として使用され、地域住民が金沢などに集団避難して以降は閉館されたままとなっていました。今回の災害支援活動がきっかけで水道が復旧され、避難時のままだった公民館や体育館などは住民総出で清掃され、今後は話し合う第1回住民会議も開かれました。

隊長の菰田さんは、南志見地区に向かったときのことを振り返り、「高速道路は片側通行で、

反対車線にひっくり返った車があり、道路はでこぼこ。震災後半年が経つのに倒壊したままの家屋やひび割れた田畑を見て、現地に近づくとつれ、皆口数が少なくなりました」と話します。しかし、南志見地区の皆さんは笑顔で迎えてくれました。

「何ができるのかという不安もありましたが、とにかく行くという強い気持ちで向かいました。帰るとき、互いに別れを惜しんだことを思い起こすと、行って良かったという深い達成感があります」

実際に被災地を見て感じたことは、災害復興の難しさでした。「復興には長い時間と人の力、お金がかかります。そして、完全に元通りにはならない。災害時は絶対に行政だけでは手が回りません。自分でできることを考えて、やっていかなければと思います」



① 甚大な被害を受けた白米千枚田 ②③ 南志見公民館での災害支援活動のようす ④ 机に置かれた輪島塗の漆器は、南志見地区の人が「もう使うことがないから」と譲ってくれたもの



一ノ谷けっこいチーム
隊長
菰田邦彦さん(本大町)

市の助成制度

- 民間住宅耐震対策支援事業 問建設課
耐震診断、耐震改修工事、耐震シェルター等設置工事に対する補助
- 民間危険ブロック塀などの撤去費用補助 問建設課
道路等に面するブロック塀等の撤去費用の一部を補助
- 民間建築物耐風対策支援事業 問建設課
耐風診断、耐風改修工事に対する補助
- がけ地近接等危険住宅移転事業 問建設課
対象となる危険ながけ地付近の住宅の移転費用等の一部を補助
- 緊急輸送道路沿道建築物等耐震対策支援事業 問建設課
緊急輸送道路沿道の住宅・建築物の耐震診断、耐震補強設計、耐震改修、建替えの支援

問建設課 ☎23-3942
危機管理課 ☎23-3940
税務課 ☎23-3922

- 住宅耐震改修に伴う固定資産税の減額 問税務課
住宅の耐震改修工事を行い、一定の要件を満たす場合、申請により固定資産税が軽減
- 家具類転倒防止対策促進事業 問危機管理課
家具に合った固定器具を購入した人に補助
- 防災士育成支援事業 問危機管理課
防災士の資格取得に取り組む人に補助
- 自主防災組織活性化事業 問危機管理課
実践的な防災訓練を実施する自主防災組織を補助

詳しくは担当課にお問い合わせ、または市ホームページを確認してください



出前講座

問秘書課 広聴広報係 ☎23-3915



市の防災専門官が市民の皆さんが主催する集会や催しなどの場に出向き、お話しします。

<受講できる人>

市内在住または勤務、在学する10人以上のグループ・団体

<各種講座メニューと所要時間>

- ①防災について (45分) ②マイタイムラインの作成について (60分)
- ③地区防災マップの作成について (30分～) ④地区防災計画の作成について (60分)

※香川県防災ナビの登録方法もお伝えします。

市の備蓄品

市では飲料水、生活用水、食料を市内18カ所に備蓄しています。また、本年度から新たに簡易ベット、間仕切り(共にワンタッチ式)を計画的に購入する予定で、簡易ベット100個が9月末に納品予定です。

また、能登半島地震の教訓から、携帯(簡易)トイレを購入する方向で、県と保管場所(倉庫)を含めた調整を進めています。

災害時にキッチンカーで炊き出し 県キッチンカー協会と協定締結

8月26日、一般社団法人香川県キッチンカー協会と避難所でのキッチンカーによる炊き出しや、避難所開設が困難な地域に対して炊き出しの実施を要請する協定を締結しました。金光代表理事は「キッチンカーは現場に直接向かい、温かい食事を提供することができる。現場の声を聞いて、食事のメニューを変えることも可能です」と話していました。



災害時の
応援協定一覧



総合防災マップ

(2023年度版)

災害が発生したときに自分自身や家族の身を守るよう、普段から災害に対する準備を行うとともに、災害に関する知識を正しく理解し、適切かつ安全に避難行動をとるための手引きとなるものです。自宅・学校・職場などの周辺にどのような災害の危険性があるのか、また、最寄りの避難場所や避難経路の確認など、家庭や地域内での防災の取り組みに活用してください。



総合防災マップは令和5年3月末に全世帯に配布しましたが、お手元がない場合は危機管理課や各支所でお渡しします。



香川県防災ナビ



香川県民の避難行動を支援する防災アプリです。危険通知やハザードマップ、避難所情報、避難所ルート、全国の避難所情報などを見ることができます。右上のQRコードからアプリをダウンロードできますので、災害が起きる前に登録しておきましょう。

危機管理課(本庁4階)で登録をサポートします。



防災ラジオ



市内にお住まいの人に防災ラジオを無償貸与します。聴覚障がい者がいる家庭には文字表示機能付きラジオを貸与します。希望する場合は申請書を危機管理課または各支所に提出してください。なお、無償貸与は世帯につき1台です。2台目は購入となります。購入について詳しくは23ページへ。

放送内容を聞き逃した場合、電話でも確認できます

現在、防災行政無線(防災ラジオ)から放送されている内容は、以下のフリーダイヤルから確認することができます。(保存期間は放送後24時間)

確認専用電話(フリーダイヤル)
☎0120-25-1650

聞き直しボタンあり。通常のラジオとしても使えます。

